

本邦訳は元文書(ICRP Topics Identified as a Priority for Review.pdf)の理解の助けを目的とした補助的な訳として国際対応委員会が作成しました。日本保健物理学会及び国際放射線防護学会 IRPA は本邦訳の正確性を保証せず、また、その使用がもたらすいかなる結果についても一切責任を負いません。2022年9月27日。

次の主勧告を準備するために優先的に検討すべきと判断された課題

2022年4月に開催された最新の主委員会において、主委員会は、次の主勧告の準備に向けたレビューのための優先課題のリストを作成しました。これは次に挙げる多くの情報源からのフィードバックに基づいています。

- 2018年にストックホルムで開催されたICRP連絡会議。
- オープンアクセスの「Fit for Purpose」論文に反応した組織からのいくつかの書面によって提出された詳細なレビュー。'Keeping the ICRP Recommendations Fit for Purpose' (C Clement et al., 2021 J. Radiol. Prot. 41 1390), www.doi.org/10.1088/1361-6498/ac1611
- 2021年10月/11月に開催されたFuture of Radiological Protection Digital Workshopについてまとめられたオープンアクセス論文 'Summary of the 2021 ICRP Workshop on the Future of Radiological Protection' (W Riihm et al 2022 J. Radiol. Prot. 42 023002), www.doi.org/10.1088/1361-6498/ac670e; and,
- 放射線防護体系の見直しと改訂が議論される多くの場における数少ない正式なフィードバック

多くのタスクグループ (TG) が、新しい主勧告の準備において、すでに重要なトピックに取り組んでいることに留意してください。

例えば

- TG91 低線量・低線量率における放射線リスク推論
- 線量係数に関する TGs 95、96、103
- 環境の放射線防護に関する TGs 99 および 105
- TG 102 デトリメントの計算方法 (ICRP Publication 151 in press)
- TG 109 医療診断・治療における放射線防護の倫理に関するもの
- TG 110 獣医診療における放射線防護
- TG 111 電離放射線に対するヒトの個人的反応を規定する要因
- TG 114 放射線防護体系における合理性と耐容性
- TG 115 宇宙飛行士の放射線防護のためのリスクと被ばく評価
- TG 118 RBE、線質係数、および放射線加重係数
- TG 119 循環器系疾患に対する電離放射線の影響
- TG121 子世代および次世代における電離放射線被ばくの影響

さらに、主委員会は、2022年4月に5つの新しいTGを立ち上げ、プロセスの早い段階で取り組むべきで優先度が高いと考えられている課題に取り組んでいます。

- TG 122 がんに対するデトリメント計算の更新
- TG 123 放射線防護の目的のための放射線による人体への有害な影響の分類
- TG 124 正当化の原則の適用

本邦訳は元文書(ICRP Topics Identified as a Priority for Review.pdf)の理解の助けを目的とした補助的な訳として国際対応委員会が作成しました。日本保健物理学会及び国際放射線防護学会 IRPA は本邦訳の正確性を保証せず、また、その使用がもたらすいかなる結果についても一切責任を負いません。2022年9月27日。

- TG125 環境放射線防護における生態系サービス
- TG126 ヒトの生物医学研究における放射線防護

以下のリストは、放射線防護体系の見直しと改訂を管理するための内部の作業補助です。ICRPの固定的な立場を表すものではありません。次の主勧告にむけた見直しのために、欠けている課題や見直す必要のない課題、優先順位を高くすべき課題、低くすべき課題などについて、フィードバックが歓迎され奨励されます。今後18ヶ月以内に開始される予定のものと、それ以降に開始される可能性のあるものとに分けており、このリストの順番に意味はありません。

今後18ヶ月以内に開始される予定の課題

- C1 生物相及び生態系における影響とリスク (C4 と共に、TGs 99、105 の結果を含む)。
- C4 被ばく状況及び被ばくカテゴリー (環境を含む) (C3 と)
- 放射線防護体系における個人の反応及び線量とリスクの個別化の意味するところ

次の主勧告までに開始される可能性のある話題

- デトリメントの改訂 (TG119、TG121、TG122 に依存)
- C4 宇宙での放射線防護 (TG115 と防護の個別化に依存)
- C3 医学における正当化 (C4 と) (TG124 に依存)
- C3 胎児、未熟児、新生児に対する医療の正当性と最適化(C4 および C1 と、胎内被ばくの影響に関する TG121 と連携して)
- C4 拘束値と参考レベルを含む最適化 (合理化に関する作業がさらに進展した場合) (C3 と)
- デトリメントの適用 (改訂されたデトリメントに依存)
- 心血管疾患を超える非がん
- 線量測定システムの統合
- がんおよび場合によってはがん以外の影響に対する w_T など
- 新しい線量係数
- ボクセル線量係数とメッシュファントムの調整
- 分子的な放射線治療における線量係数とリスク係数
- その他の非環境動物の防護
- 主要な目的、ヒトと環境の対象
- 線量限度と個人の防護、限度の根拠
- 放射線防護における倫理の実践的意味合い
- 個人の反応の意味合いを含む新たな Publication 105
- 線量係数の大要
- 放射線防護体系における不確実性の源と影響
- 教育および訓練
- コミュニケーション